

～美心与謝野を求めて～

観光協会だより

2014年12月発行(第5号)



まめっこまいちゃん

日頃より与謝野町観光協会の活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。京都府北部7市町(福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町)では、「海の京都」という統一キーワードで結び総合的な観光地域づくりに取り組んでいます。「海の京都」を全国に向けて大きくアピールするイベント「海の京都博」が平成27年5月末～8月末に開催されることになりました。また、今年度の取組みの中で与謝野町観光協会のあるべき姿について「あり方検討会」が組織され、会長へ「報告書」が提出されました。これを受け理事会では具現化に向けて平成27年度より実施していくことで一致しました。詳しくは次ページをご覧ください。



フォトコンテストの受付を開始致します。

特にテーマを設けず与謝野町のPRにふさわしい作品を幅広く募集しています。応募点数はお一人様2点まで、無加工の作品とします。応募期間は12月1日～12月26日
皆様のご応募をお待ちしています。

主な行事

- 10月12日(日) ちりめん街道まるごとミュージアム
- 10月19日(日) 大内峠もみじまつり
- 10月18・19日 与謝野自慢(堺市)
- 11月1日～24日 よさのまちグルメ
- 11月2日(日) 滝・金屋命の里 秋の大感謝祭
- 11月2日・3日 加悦SL広場周年祭
- 11月8日～24日 与謝野町明石大師山 もみじまつり
- 11月16日(日) 阿蘇BAYエリア周遊イベント「^{まち}菜」
- 11月30日(日) 第3回与謝蕪村顕彰与謝野町俳句大会



《 ちりめん街道まるごとミュージアム 》



10月12日(日)台風が心配されましたが、お天気に恵まれ「きものパレード」はじめ沢山の催しが街道内で賑やかに行われました。旧役場庁舎内も「ちりめん古布パッチワーク」&「写真展」で多くのお客様に楽しんで頂きました。

《 与謝野自慢 堺まつり 》



10月18日(土)・19日(日)にかけて大阪府堺市のザビエル公園・山之口商店街において堺まつりが開催され、与謝野町も晶子ゆかりのまちとして観光PR・与謝野ブランドの展示販売を行いました。

《 筆の会 作品展示 》

11月8日(土)・9日(日)旧役場ホールで展示を行いました。与謝野町筆の会様による素晴らしい作品が並びました。



《 ガイドの様子 》

夏から秋にかけて語りべの会ガイドの依頼が増え、昨年に比べ130%の伸び率です。多くのお客様にちりめん街道の古い町並み・歴史を感じていただきました。



与謝野町観光協会のあり方検討会から「報告書」が提出

平成26年度協会主要事業の「与謝野町観光協会のあり方」を検討する委員会（西川委員長以下10名で構成）より、10月1日当協会会長に「あり方報告書」が提出されました。

報告書には協会の設置目的、役割（事業）、組織体制、健全運営（事務事業）について委員からの意見、更には具現化に向けての具体的な提案が示されたもので、その要旨は次のとおりです。

- 与謝野町観光協会は、会員や地域が求めている「観光振興を基軸とした地域経済活性化」を掲げ、当町の観光振興の総合窓口として「実在感」のある組織の構築
- 与謝野町全体の経済活性化と併せて会員のメリットにも重きを置き、会員に何を還元するかを追求し、そのための事業展開も検討
- 総合的な観光振興を図るための組織を目指すには、組織内での情報共有を図るネットワーク化や会員総参加による事業推進プロジェクトチームの設置、その事務局を掌る事務局体制の強化・充実
- 将来的には組織の法人化、更には町内関係団体との統合・合併も視野に入れた組織強化・充実
- 行政支援に依存せず、自立した経営計画・経営戦略を策定し、ビジネス感覚を持った観光振興組織の追求

与謝野町観光協会あり方具現化計画を策定

理事会では、あり方検討会から提出された「報告書」を受け、意見・提案について検討を重ね、今後、具現化を進めるための「道しるべ」として「与謝野町観光協会あり方具現化計画書」を作成しました。

具現化計画はあり方検討会の意見・提案を尊重し、協会の自主的な取り組みや行政への依頼事項を明確にしたもので、具体的な取り組みは次のとおりです。

- 与謝野町観光協会の設置目的と役割（事業）
 - ・ 観光振興による地域経済活性化に相應る協会を明確にするため協会会則を改正する。（総会に提案）
- 組織体制の強化
 - ・ 役員体制の再構築、事務局体制の充実、事務事業執行の充実（プロジェクトチーム体制の構築）
- 協会の法人化
 - ・ 法人化に向けての調査・研究を特別チームで取り組む
- 事務事業の充実
 - ・ 継続事業の見直しと充実、新規事業の取り組み体制の充実、自主事業による自主財源確保の協議



以上のとおり、与謝野町観光協会は平成27年度を「与謝野町観光振興推進元年」とし、協会が進むべき方向を会員一丸となって具現化していくことが示されました。会員の皆様には、引き続き、ご支援ご協力をお願いします。

なお、報告書、具現化計画書につきましては、町にも提出し、協会の思いと、行政支援について要望をおこなっています。

*** 報告書、具現化計画は協会事務局にございますので、
いつでもご覧いただけます**

